

令和7年度指導教諭による「授業力アップ講座」③④

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、2つの授業力アップ講座を紹介します。

9月17日（水）奥州市立水沢小学校
第6学年 外国語：Unit5 We live together.

授業者 千葉 道子 先生

10月15日（水）奥州市立岩谷堂小学校
LD等通級学級（第3学年）自立活動：読み・書き・計算パワーアップ

授業者 柴山 佑美 先生

提案授業

「動物の気持ちになって環境保護の大切さを呼びかけよう。」という学習課題のもとで、言語活動を通して、既習表現を活用しながら、動物の悩みを考え、英語で表現する授業でした。



子供たちは、あらかじめ選んでいた動物になりきり「I'm～」、「I live in～」、「I eat～」などの既習事項を用いて表現する方法を考えていました。

また「～is a problem.」、「I want～」の表現を使って、動物たちの困りごとをみんなで考えることで、環境保護の大切さを伝える表現への理解を深めました。千葉先生の「間違ってもいいんだよ!」、「困ったらみんなで考えよう!」という声掛けで、子供たちは安心して考え、表現していました。

研究協議

他教科等とも関連付けながら、教師が創意工夫して単元計画を作成することで、児童の学習意欲が向上することを再確認できました。既習事項を繰り返し活用しながら、意識的に技能の統合を図ることの重要性についても確認できました。

提案授業

子供の願いをもとに、読み・書き・計算の学習活動を多く取り入れながら、子供たちが強みを生かして苦手なことにもチャレンジしていく授業でした。



子供たちはフラッシュカードで本時の学習内容をについて見通しをもち、はじめになぞなぞ勝負をして学習意欲を高めていました。所属学級からの課題である国語の感想文は、そのままでは難しくても、書きやすい大きさのマス目と考えるきっかけの文があることで、自分の考えやその理由を書くことができました。

また、コグトレ（足し算）、ことばビンゴ等の活動を通して目標を達成した喜びや楽しさを感じながら、抵抗なく読み書き計算の技能を高め、着実に学習を積み上げていました。

研究協議

個々の実態を把握した上で「強みを生かし、楽しみながら、自分に合った方法で苦手を補い伸ばす」という発想で授業づくりをする重要性について再確認できました。所属学級の担任や保護者との連携の大切さについても確認できました。

千葉先生の授業から学ぶ 外国語の授業のポイント!

- ◆子供が「楽しい!」と思えるような単元計画を、他教科・領域や日常生活と結び付けて作成すること。
- ◆言語活動を通して思考し、表現する時間を十分に確保した授業づくりを心掛けること。

柴山先生の授業から学ぶ 自立活動の授業のポイント!

- ◆子供一人一人の正確な実態把握と、子供の強みを生かしつつ楽しく取り組める学習活動を考えること。
- ◆どんなに小さなことでもほめて価値付けし、先生方や保護者と子供の成長を共有する環境を作ること。

参加者の声（一部抜粋）

- ・授業者が、既習事項を使って思考し表現することを粘り強く指導し続けることが、児童の資質・能力の向上につながることに気付くことができた。
- ・子供が楽しいと感じられるような単元計画を、単元の背景や既習事項、他教科等と関連付けて考えることが、子供の主体的な学びにつながると感じた。

参加者の声（一部抜粋）

- ・どの子供でもできるように教材に手を加えて準備している点が勉強になった。強みを生かして、楽しみながら弱い部分を伸ばす工夫がとても良い勉強になった。
- ・「幼児」「無料」のキーワードで良質な教材がたくさん見つけれられることを知れたし、柴山先生の豊富な実践事例は、明日からでも取り入れてみたいと感じた。